

平成25年11月27日

**大学院生物圏科学研究科の三瓶 真特任講師が
第55次南極地域観測隊員に選ばれました**

[教育機能、研究機能]

大学院生物圏科学研究科の三瓶 真（さんぺい・まこと）特任講師が、平成25年度に文部科学省より南極地域へ派遣される、第55次南極地域観測隊員（全63人）に選ばれました。

三瓶特任講師は、文部科学省が実施する南極観測事業の重点研究観測課題“南極海生態系の応答を通して探る地球環境変動”の研究分担者として派遣されます。南極海における生態系、および生物ポンプ（※）に対する動物プランクトンの影響の解明、さらには、これらに対して地球温暖化が及ぼす影響を明らかにするため、南極海域において、長期係留系（1年間に渡り海中に設置する観測機材）やプランクトンネットおよび採水器等を用いて、試料やデータを取得します。

三瓶特任講師らは、海洋研究調査に重点を置くため、昭和基地への物資輸送に重点を置くしらせ本隊（11月下旬に日本を出発）とは別に、別働隊として平成26年1月6日から2月9日まで東京海洋大学の練習船海鷹丸で南極海の研究調査を行う予定です。



三瓶特任講師



派遣される南極地域

【お問い合わせ先】

大学院生物圏科学研究科

特任講師 三瓶 真

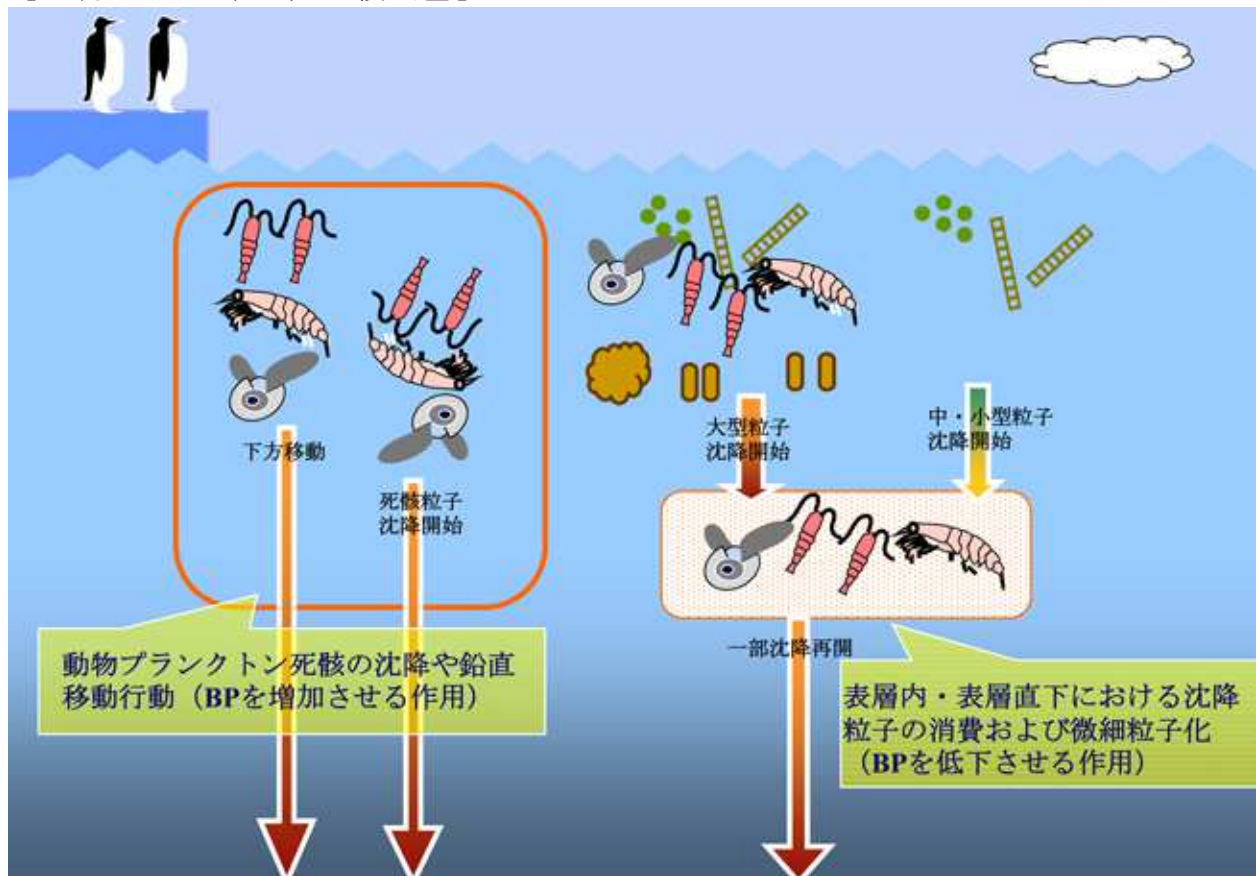
TEL:082-424-7999 FAX:082-424-7916

E-mail: makoto-sampe@hiroshima-u.ac.jp

※生物ポンプ（バイオロジカルカーボンポンプ）

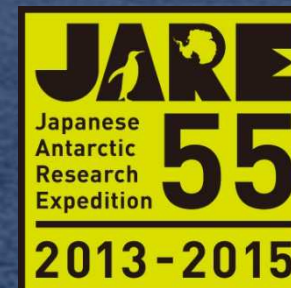
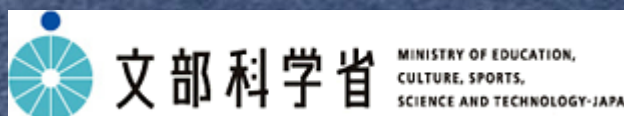
…生物の働きにより海洋表層の CO₂ を深層に輸送する働きのこと。

【生物ポンプ（BP）の模式図】



第55次南極地域観測隊 重点研究観測隊員 就任報告

広島大学 大学院生物圏科学研究科
三瓶真



南極観測隊

観測部門

設営部門

基本観測

研究観測

一般研究観測

重点研究観測

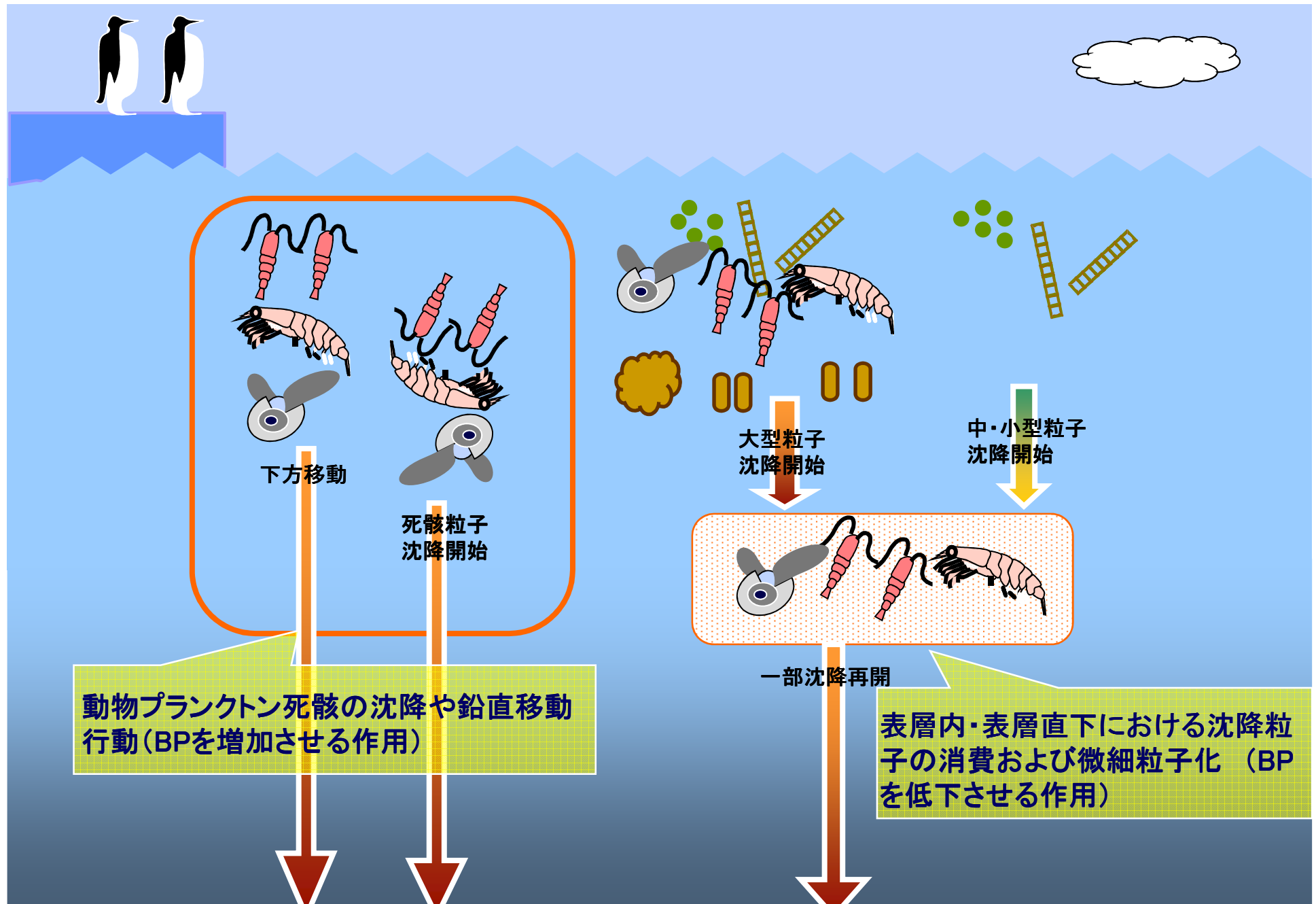
重点研究課題名

南極海生態系の応答を通して探る地球環境変動

私の分担研究課題

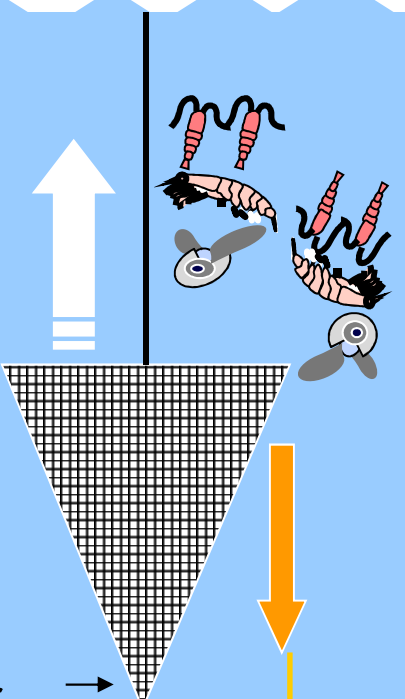
バイオロジカルカーボンポンプを制御する
海洋生態系機構の解明

バイオロジカルカーボンポンプ (BP) の概略図

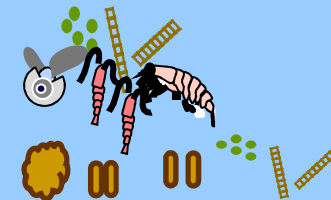


本研究計画のサンプリング

鉛直曳網による
プランクトン採集



プランクトンネット



粒子採集

← セディメントトラップ

動物プランクトンの
現存量測定

← ADCP (Acoustic Doppler Current Profiler)

← 係留系

← 重錐



期待される成果

地球温暖化の大きな影響を受ける前の、バイオロジカル
カーボンポンプ(BP)に関するベンチマークデータの取得

地球温暖化の進行に伴う、BPの将来的な変化の予測に
貢献する

学生にグローバルな環境問題を実感してもらい、世界市民
としての自覚を促す